

令和2年度 第2回能代山本定住自立圏共生ビジョン懇談会の概要

○日 時 令和2年11月18日(水) 午前10時～11時30分

○場 所 能代市役所 新庁舎3階 会議室9・10

○案 件

(1) 令和元年度KPIの達成状況について

※委員からの意見等なし

(2) 次期共生ビジョンのKPI案について

分野	意見	対応
医療	大腸がん検診受診率の目標が高いと感じる。目標達成の手立てはあるのか。	各市町で行う受診促進事業に加え、圏域での連携を強化していきたい。
	がん検診受診率の向上に向けた取り組みはどのように行うのか。	行政として啓発も行うが、事業所や企業への働きかけも必要になる。
福祉	能代山本で出産できる病院は厚生医療センターのみ。厚生医療センターを維持していくという前提での指標になっているか。	出生数は生まれた場所ではなく、出生届による数値であるため、指標との直接の関係はないが、定住自立圏では、医療分野で産科医確保事業を位置づけ、厚生医療センターの産科医の支援に取り組んでいる。
	「圏域での子育て支援サービスの相互利用や、子育て世帯への助成等を行う。」という協定内容に対し、出生数の指標は合わないのではないか。	子育て支援として、助成や施設の運営など、子どもを生み育てやすい環境整備をすることにより、出生数増加につながってくると考えている。
産業振興	観光分野はコロナの影響を大きく受け、実績が伸びず、目標値との開きが出てくると思う。	コロナの影響は当然考えられるので、状況の変化など、見直しの必要があれば柔軟に対応していきたい。

分野	意見	対応
地域公共交通	公共交通カバーエリアの維持だけでなく、定時運行できるようなシステムを維持していくことも大事。各市町の公共交通のポイントを押さえて、そのポイントを路線バスがつかないで回るような仕組みを圏域で考えていかないといけない。	各市町の公共交通の仕組みを尊重しつつ、ニーズの把握や事業者との協議を行い、圏域で連携できるようにしたい。
	大館能代空港の利用者は順調に増えているため、令和7年度に15万人という目標は少ないのではないかと。	3便化が未実施となっているが、利用者が増えていけば、市町の施策における目標数値を参考に、数値を変更することは考えられる。
地域内外の住民との交流・移住促進	婚活イベントに参加してもらう前に、婚活力のレベルアップを図る必要がある。当人に具体策を届けるような取組はできないか。	行政がどこまで踏み込めるかという課題もあるが、ノウハウのある民間コンサルとの連携は考えられる。
	山口県阿武町は、ここ数年社会増減ほぼ0を達成している。産む、育てる、働くまちとして阿武町が選ばれている。行政が親身になっていることが要因だと思うので、参考にしてもらいたい。	※意見として伺った。